

FOOD

🍴 昼食 12:00-13:00

ランチ会場 A・B・C

受付でご案内の会場でお召上がりください。別府市の社会福祉法人みりの会が運営する「毎日食堂」の人気メニュー、地元の食材を使った「たまたま箱弁当」をご用意しました。手作りメニュー表にもご注目ください。

☕ 軽食 13:00-16:30

オムロン太陽 3F 屋上特設会場

お好きな時間にお立ち寄りください。大分県産のカボスとイチゴを使ったブッセとコーヒーをご用意しております。杵築市の「Oliva -Olea」のご協力による、この日だけのスペシャルメニューです。

MOVIE

映像上映 13:00-16:30

オムロン太陽 2F 多目的室

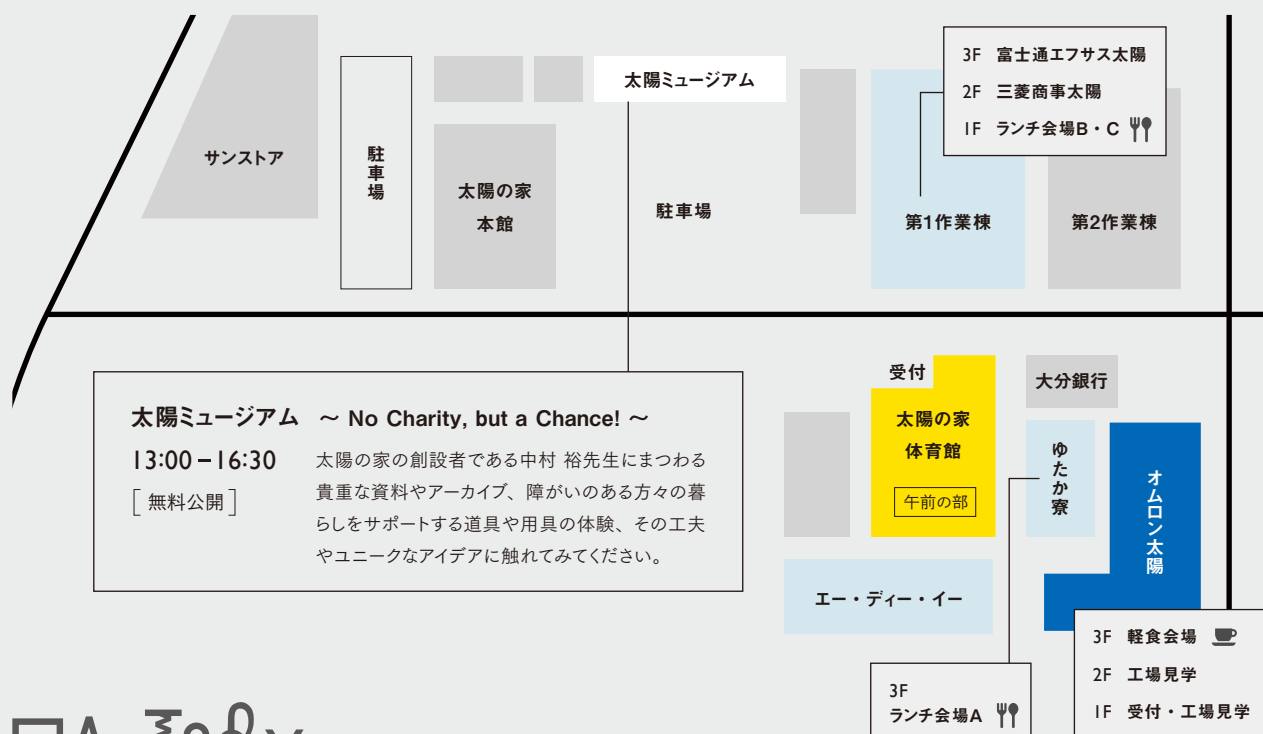
オムロン太陽が思い描く未来を紹介する映像、チームビルディング研修「ソーシャルサーカス」の映像、特別工場見学メモイキング映像、経営管理グループの阿部さんが制作したオムロン太陽の思い出のスライド映像を放映しています。

ART

アート展示 13:00-16:30

オムロン太陽 2F 会議室

オムロン太陽のメンバー自ら企画したアートプロジェクト。50年後にバトンを繋いでいくことをイメージしたオブジェをみんなで作りました。



FACTORY

13:00-16:30

太陽の家の活動に共感し、志をともにする近隣の各企業の協力により、工場見学が可能になりました。みなさまぜひご訪問ください。

富士通エフサス太陽(株)

聴覚障がいのある方向への、音の大きさを振動と光の強さに変換し、音の特徴を伝えるデバイス「Antenna (アンテナ)」を展示しています。

三菱商事太陽(株)

自助具やソフトウェア、ビデオ通話ソフトを使用した在宅の障がいのある方のコミュニケーションの実演、在宅勤務者をサポートするツールなどを紹介しています。

(株)イー・ディー・イー

ドローンサッカーは、球状フレームに覆われたドローンをドーナツ型のゴールに通して得点を競い合う戦略型スポーツ。性別、年齢、障がいに関係なく、楽しみながらドローンの操作体験ができます。



創業50周年記念プロジェクト
特設Webサイト

<https://components.omron.com/taiyo/50th/>

企画：オムロン太陽株式会社 企画アドバイザー：栗栖 良依 デザイン：福田 まや/星庭 編集：竹尾 真由美

別府市大字内竜字中無田1393-1 TEL 0977-66-4447



オムロン太陽株式会社 創業50周年記念プロジェクト

UNLOCK the FUTURE

未来を拓く

2022.04.08

共生社会、ダイバーシティ、インクルージョン。言葉として概念化されると、たちまち、どこか遠いところの話のように聞こえてしまう。

私たちはただただ、現場やともに働く仲間の姿を見つめ、お互いがより活躍するためにどうすべきかを考え、変わり続けてきた。未来はいつだって、訪れを待つのではなく、切り拓くものだった。

過去もそうだったように、私たちがこれから目指す未来を表す言葉は、きっとまだない。

これまでの50年を解き放って、さらに私たちらしく、言葉にならない未来へ。

オムロン太陽株式会社
創業50周年記念式典

午前の部

10:00 式典 太陽の家 体育館

開会宣言
オムロン太陽のあゆみ (映像)

主催挨拶
オムロン株式会社 取締役会長 立石 文雄
オムロン株式会社 代表取締役社長CEO 山田 義仁

来賓挨拶
大分県知事 広瀬 勝貞 様
別府市長 長野 恭紘 様
社会福祉法人 太陽の家理事長 山下 達夫 様

11:00 クロストーク

太陽の家 体育館

未来の働き方を語ろう

私たちの「未来の働き方」とは？ スポーツやアートなど多様な領域のゲストの視点を織り交ぜ、誰もが活躍できる次の時代の働き方について考えます。

ゲストスピーカー



廣瀬 俊朗

元ラグビー日本代表キャプテン
株式会社HIRAKU代表取締役

日本の元ラグビー選手。15人制日本代表として28試合に出場。2012-2013の2年間はキャプテンを務めた。現在はスポーツの普及や教育、食、健康に重点をおいた、企業との協業活動、社会課題解決プラットフォームの構築・運営などに取り組む。



内田 まほろ

キュレーター／プロデューサー
JR東日本文化創造財団
高輪ゲートウェイシティ(仮称)文化創造標準備室長
日本科学未来館勤務、MoMAの在外派遣他、国内外ミュージアムで、科学と芸術の領域横断の企画を多数手掛ける。現在は、JR東日本が開発する新しい街で、多様な文化を未来へつなぐ場づくりをリードする。

スピーカー



笹原 廣喜

オムロン太陽 生産技術グループ 課長
1999年に事故で脊髄損傷、2年後に車いす陸上開始。大分国際車いすマラソン日本人初優勝、大分県賞詞(県民栄誉賞)受賞、北京パラリンピック銀メダル。オムロン太陽で、障がいのある人の働く環境整備や講演などの社会貢献活動を担う。

モデレーター



栗栖 良依

アートプロデューサー
SLOW LABEL代表
東京2020パラリンピック開閉会式ステージアドバイザーを務め、障がいのある人の舞台芸術におけるアクセシビリティを改善する活動を展開。アート・エンタメの世界を横断して異文化をつなぐ。

午後の部

13:00 特別工場見学「はたらくひと見学」

集合場所：オムロン太陽 正面玄関



50年前から、障がいのある人とない人がともに働く職場だったオムロン太陽。普段は、作業中のメンバーに声をかけることはできませんが、今日だけは特別。人前で話すことに慣れていないメンバーも、劇作家の益山さんや映像作家の西松さんとともに、みなさんへ伝えたい思いや言葉を組み立てました。「ユニバーサルものづくり」のためのさまざまな工夫にもご注目ください。ここでの対話には、多様な人々が社会で輝くためのヒントがあるはずです。



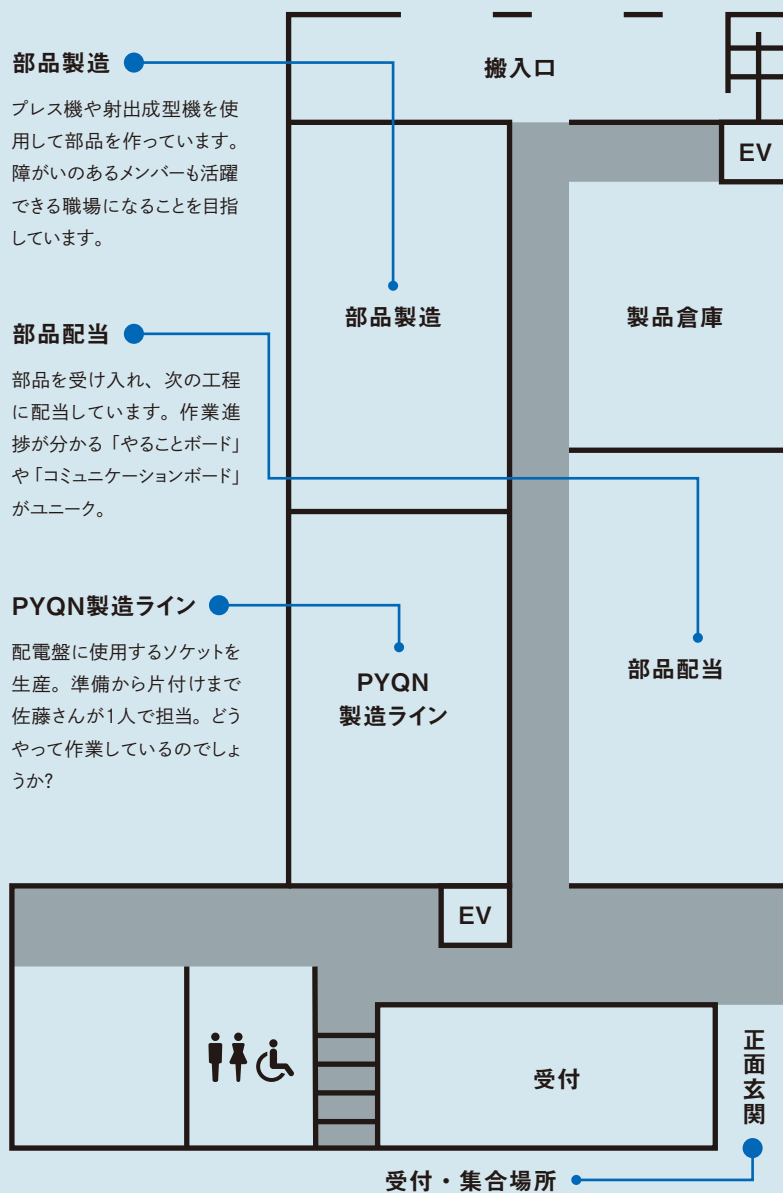
構成演出 益山 貴司

劇作家・演出家。劇場のみならず野外での参加型演劇をおこなうなど、さまざまな上演スタイルに挑戦。



撮影 西松 秀祐

大分県杵築市を拠点に活動する美術家。ブランシュバイグ芸術大学を卒業後、映像表現を軸とした作品を展開している。



部品製造
プレス機や射出成型機を使用して部品を作っています。障がいのあるメンバーも活躍できる職場になることを目指しています。

部品配当
部品を受け入れ、次の工程に配当しています。作業進捗が分かる「やることボード」や「コミュニケーションボード」がユニーク。

PYQN製造ライン
配電盤に使用するソケットを生産。準備から片付けまで佐藤さんが1人で担当。どうやって作業しているのでしょうか？

A7CN製造ライン
各メンバーに合わせた治工具を使って、機械を動かす人と検査をする人に分かれて仕事をしています。

HP製造ライン
聴覚障がいのあるメンバーとは、UDトーク(話した言葉を活字にして伝える機器)やブギーボード(手元で使える筆談用ボード)で対話します。

A7BS製造ライン
障がいのある人もない人もいるユニバーサルライン。どこに働きやすくするための工夫があるでしょう？

分析室
製品や部品に環境や人体に悪い影響のあるものが含まれていないか検査、分析します。立ち上げてまだ5年の比較的新しい部署です。

MOVIE
映像上映



特別工場見学「はたらくひと見学」
各製造ラインの紹介動画をこちらからご覧いただけます。

アップサイクル コサージュ

ご参加のみなさまの胸元を飾るのは、私たちの工場の廃材を活用した「路地裏フラワー／大分市」によるコサージュ。オムロン太陽の働き方をイメージし、個性を生かした、ひとつとして同じものがないコサージュが生まれました。今日の思い出にお持ち帰りいただき、そっと飾っていただけると嬉しいです。



工作室

安全性、生産性、品質の向上を目的とした設備や障がいのある人を補助する治工具を製作中です。

C3D製造ライン

電動工具に使用するトリガーを生産。手先の器用さや集中力の高さを活かしたメンバーが活躍中。

A7PS/PH製造ライン

組み立てからチェックまで井原さんの担当。危険な作業もあり、部品や装置の置き場を工夫しています。

C2U製造ライン

レントゲンスイッチの部品を作ります。はんだ付け工程で製品を固定したり、姿勢に合わせて高さを変える治工具有ります。